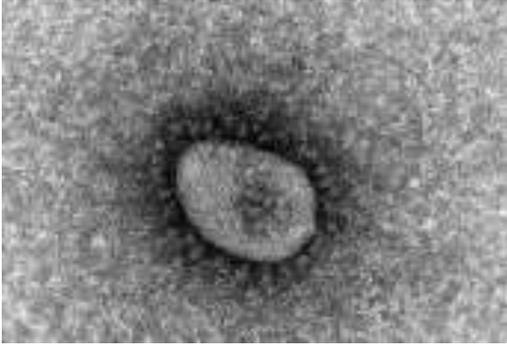


沖縄コロナ感染、前週比1・42倍に急増 60代が4割、20代も増加 県「換気や手洗いで予防を」

6/28(金)琉球新報



沖縄県感染症対策課は28日、県内53定点医療機関で17～23日の1週間に報告された新規の新型コロナウイルス感染者数が1医療機関当たり25・68人となり、今年初めて20人を上回ったことを発表した。前週は18・11人で、1・42倍に急増した。

同課によると、定点医療機関での17～23日の新規感染者は1361人。60歳以上の高齢者が585人で、全体の43・00%を占める。一方で若い世代にも感染が広がっており、20代も120人(8・8%)と、前週の1・67倍に増えている。

同課は「梅雨明けで、高温が続き、換気をしなくなっていることも考えられる」として、換気やせきエチケット、手洗いなどの感染予防策を呼びかけている。(宮沢之祐)

沖縄県内の新型コロナ微減 全国最多は変わらず

6/22(土)琉球新報

県は21日、県内の基幹定点医療機関7カ所で10～16日に報告された新型コロナウイルス感染による新規入院患者が101人になったと公表した。前週に比べ微減したが、2週連続で100人を超え、救急医療は依然厳しい状況が続く。

同期間に県内53定点医療機関で報告された新規のコロナ感染者数は960人で、1医療機関当たり18・11人。前週は報告漏れがあったといい、新規感染者は14人増えて1052人に、1医療機関当たりでは19・85人となった。わずかだが、2週連続で減っている。

1医療機関当たりの新規感染者数の全国平均は4・16人だった。都道府県別では沖縄が8週連続で最多。県感染症対策課は「コロナ感染による入院患者は高止まりで、予防策はしっかりとしてほしい」としている。(宮沢之祐)

沖縄、コロナ新規入院が初の100人超 救急搬送先が決まらぬ状況も 昨年9月以降

6/15(土)琉球新報

県は14日、県内の基幹定点医療機関7カ所で3～9日に報告された新型コロナウイルス感染による新規入院患者が104人になったと公表した。前週の1・3倍で、現在の調査方法になった昨年9月以降で100人を超えるのは初めて。救急患者の搬送先がなかなか決まらない状況が出てきているという。

同期間に県内53定点医療機関で報告された新規のコロナ感染者数は1038人で、1医療機関当たり19・58人。前週より0・16人減り、9週間ぶりの減少とはいえ、高止まりの状況が続く。10代の新規感染者は161人で、前週の1・26倍に増えた。

都道府県別では沖縄が最多で、次いで鹿児島が8・73人だった。県感染症対策課は「コロナ感染は依然、増加傾向にあり、手洗い、咳エチケット、換気などの予防策をしてほしい」(宮沢之祐)

沖縄県	
2024年6月10日～6月16日	2024年6月17日～6月23日
18.11人	25.68人

※厚生労働省の速報値です。データは後日修正される場合があります。